

平成 21 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	マクロ経済学

以下の問 1 と問 2 の両方に解答しなさい。なお、問 1 は解答用紙の 1, 2 ページを、問 2 は解答用紙の 3, 4 ページを用いて解答しなさい。

問 1 閉鎖経済の IS-LM モデルを考える。Y を国民所得，r を利子率，C を消費，I を投資，G を政府支出，M を名目貨幣供給，L を実質貨幣需要，P を物価水準とする。いま

消費関数  $C = 20 + 0.2Y$ ； 投資関数  $I = 10 - r$ ；  
貨幣需要関数  $L = 40 + 2Y - 5r$ ； 政府支出  $G = 10$ ； 名目貨幣供給  $M = 80$

が与えられたとき、以下の設問に答えなさい。ただし、ここで与えられていない変数（輸入，輸出，租税等）は考慮しなくてよい。

- (1) 財市場の均衡条件 (IS 式) を書きなさい。
- (2) 貨幣市場の均衡条件 (LM 式) を書きなさい。
- (3) 総需要曲線を求め、正確に図示しなさい。
- (4)  $P=1$  のときの、均衡国民所得、均衡利子率、および均衡消費水準を計算しなさい。
- (5) 物価水準  $P$  の上昇が均衡投資水準にどのような影響を与えるか説明しなさい。
- (6) 設問(4)の設定で、経済状態  $(Y, r) = (40, 5)$  は、財市場および貨幣市場でそれぞれ、超過需要、超過供給、均衡のいずれの状態であるか、説明しなさい。

問 2 新古典派経済成長モデルについて以下の設問に答えなさい。

- (1) 人口成長率の上昇が均衡成長経路に及ぼす影響について述べなさい。
- (2) 貯蓄率の上昇が均衡成長経路に及ぼす影響について述べなさい。
- (3) 長期均衡が安定的であることを説明しなさい。

以上